

## 2 別府市立中部中学校の校内研究における「事実解釈型」の取組

1月29日（水）校内研究会（実践授業2年生 社会科）にて

【参考資料1】研究主任が研究授業の参観前に配布した資料

### 中部中学校 授業研究会 & 事後研究会

#### 【授業者の日頃の授業での悩みや困り】

・・・資料の読み取りが単調になり、生徒がまとめた考えや内容が薄いことが多い。

#### 【授業者が目指したい生徒の姿】

・・・複数の資料を関連付けて、事象同士のつながりを考えることができる生徒。  
資料を多面的・多角的に読み取り、自分の考えを再構築できる生徒。

#### 1 授業観察の視点

##### ① 基礎・基本の定着を図るための工夫・チャレンジ

・・・単元の流れをつかむためのOPPシートの活用。

##### ② 授業に意欲的に取り組ませる工夫・チャレンジ

・・・グループ学習の形態、ICT機器の活用（思考ツール）

#### 2 事実・解釈型の事後研究会の目的

① 授業者のメリット：観察シートにより、授業内での生徒の様子を知ることができる。

② 参観者のメリット：自分の授業以外の生徒の様子を観察することができる。自分だけでなく、他の教員の生徒に対する捉え方、見方を共有することで、授業を見る目・生徒を見る目を養うことができる。

※抽出生徒を中心に観察しますが、抽出生徒のペアの生徒、班の生徒など、他の生徒との関わりを見とることも良いと思います。

1/30 事後研 (C) K 6	場面	様子	原因(手記)
	より活性化させること考える時	キョロキョロしている	おとめる経験不足
	班内でお互い意見交換する場面	文章にどう表現していいか分からない、 班員の発表を聞いていない、 発表中におとめを遅れで書いている	表わせる生徒のために 答えのひらき型を準備 班長とでよい時を予想して準備 打ち合わせ 班員がうなずくまで聞いていたのでもう発表できた。

< 具体的な場面や発言 >	< なぜが生じた理由 >
<p>☆ 班員での意見共有</p> <p>① Aさんが積極的に発言。 それをBさんがサポート。</p>	<p>直前? (調べ学習⇒写真) 視覚的效果 事前の学習に 印象に残りやすい。</p> <p>各班で取り組んでいたため、 授業内容を理解、興味をもっていた。</p>
<p>② 班員の意見を全て見たあと、 Bさんが「みんなバラバラ」と発言していた。 それをきっかけに他の生徒も 意見の共通点、相違点を話し始めた。</p>	<p>プリントの内グラフ(視覚的情報)によって、 考えの変化が可視化。 話し合いがしやすい雰囲気!</p>
	F 班



事例のポイント (大分大学 大島先生より)

この事例では、授業者の「困り・悩み」や、それを解決するための「工夫・チャレンジ」を授業参観前に伝えるようにしています。この工夫によって、「同僚に好事例を見せなければならない」という授業者の心理的負担も軽減しますし、授業者の「困り・悩み」に寄り添った事後研にもつながります。